

特集 **カレーキットで行こう!**香り  
Flavor

オールスパイス



ガーリック



カルダモン



クミン



クローブ



コリアンダー



シナモン



ジンジャー



ナツメグ



フェネグreek



ベイリーフ



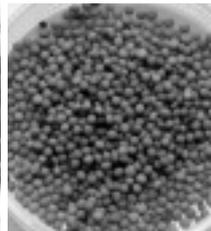
メース

辛味  
Sharp Taste

チリ



ブラックペパー



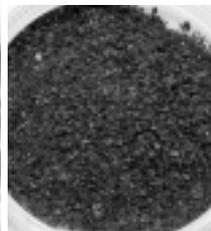
マスタード

色  
Color

ターメリック



サフラン



パプリカ



## カレーキット

国際理解や国際関係を子どもたちと考える際に、「食」を切り口にするのはよく行われる手法です。さらに、最近ではインターネットなどの普及によりビジュアルな資料を授業の中で活用されている先生も少なくないようです。

これに「実物」が加わるとどうでしょう。実際にさわり、匂いを感じる...

(財)神奈川県国際交流協会では、スーツケース教材「カレーキット」を開発し、昨年4月から貸し出しを行っています。このキ

ットは、南アジアで実際に使われている食器、衣装、様々なスパイス、石臼など、「カレー」という食文化から多方面へ文化理解が広がる「素材」が満載。スーツケースを開けた途端に様々な香りが漂ってきます。

今回の特集では、貸出開始一年になる「カレーキット」の中身の詳細と、実際の学校での授業例などをご紹介します。「貸出ボックス」教材について考えてみたいと思います。

# Scoop!

## ついに！ スーツケース教材 「カレーキット」の秘密が明かされる！

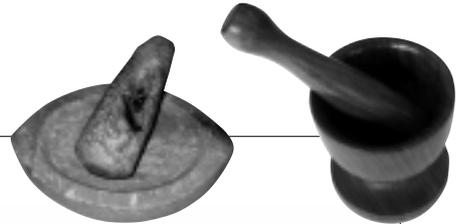
昨年4月から貸出が始まった「カレーキット」。今回は、「カレーキット」に詰まった生活関連グッズを詳しく紹介し、文化の多様性と世界の相互依存関係について理解を深めるために、どんな使い方ができるかを探ります。実際は、スーツケースを開けた途端にスパイスの香ばしい香りが辺り一面に広がるのですが、紙面では「香り」をお伝えできないのが残念。興味をもった方は、是非「カレーキット」の実物を手にしてください。

### 着る



サリーは南アジアを中心に、昔から広く女性たちに着られている服です。何千年という歴史を持ちますが、生地、織り方、色、細工、着方は地域によって様々です。着心地はどうでしょう？まずは試着を！

### 挽く



石臼（オカール）と木製のスパイス挽きです。ホールスパイスなどをこの石臼で挽きます。お試しスパイスをこの臼で挽いてみると…。あたりに広がる匂いばかりは言葉で説明できません。

### 入れる

左2つは弁当箱です。上は昔ながらのものですが、最近では下のような平型のものも普及しているようです。真ん中の食器は、真ちゅうでできたディナーセットです。地域や民族によって個々の器の置き方も違うようです。



コップと水差し（「カルワ」）です。水を飲むときコップを使うこともありますが、水差しから直接飲むこともあります。その時は、注ぎ口に唇をつけないで、少し離れた位置から上手に流し込みます。どうして、口をつけないのでしょうか。そんな疑問からも学びが始まります。

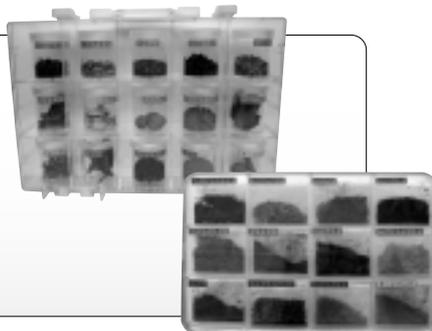
### 子どもたちの遊び道具まで入っています



これは「チェンギ」。「けまり」のようにして遊びます。輪ゴムで作るのが普通ですが、これは自転車チューブからできています。子どもたちに大人気です。他にはどんな遊びがあるのでしょうか。

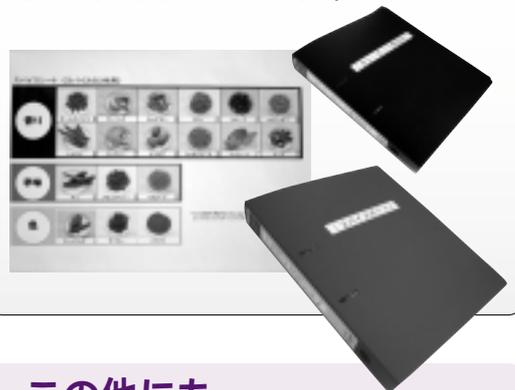
### 匂いが伝わる スパイスセット

挽く前と挽いて粉になったスパイスが比較できます。実物の匂いをぜひ嗅いでみてください。



### 授業でそのまま使えるセット

教室で黒板にはることができるスパイス一覧表です。その他にも、フォトランゲージに使える現地生活写真、スパイスガイド、授業の展開案も入っていて便利なキットです。



### この他にも...

ネパール音楽CDや現地の食卓の様子などが収録されたビデオも入っています。

## カレーキットと国際理解展示室

ネパールの首都カトマンズに住むネパール族のアニサちゃんの家が、**あーぢぶぢ** 5階の国際理解展示室に再現家屋として展示されています。最上階である4階部分が別途常設されており、中に入ることができます。そこには台所が復元されており、子どもたちは我家の台所との違いに気付きます。

アニサちゃんの家とともに、インド、バングラデシュ、タイなどカレー文化圏に入るアジア地域の展示、石臼でのスパイス挽き、民族衣装の試着、楽器演奏など、五感を使って異文化に触れる体験学習の場が用意されています。

「カレーキット」は、この国際理解展示室と学校をつなぎ、カレーという身近な“食”を切り口に文化の多様性と世界の

国々の相互依存関係の認識を深めてもらうことを目的に開発しました。

キットを利用して事前に食文化への興味、関心を高めた上で**あーぢぶぢ**に来館し、学習内容を深めたり、校外学習の事後学習の教材として利用したり、利用の仕方は学習計画に応じて様々です。

「カレーキット」をどのように活用していくかについて「カレーキット」に入っている授業案を紹介します。

アニサちゃんの家  
内部



アニサちゃんの家  
外観

## カレーキットを使った授業案の紹介

### カレーから見える世界の食と人間

\*小学生用・全体13時間]

給食のメニューでも人気が高いカレーに関する知識を子どもたちに問いかけます。

ビデオを見せ、意外に多い謎から興味、関心を高め、カレーについて知りたいことを述べさせます。調べて発表したり、作って食べたいという意欲を引き出すため“カレー博物館を開いてみよう”と導きます。

続く調べ学習では、なぜカレーは辛いのか、なぜ手で食べるのか、具の違い、いつ日本に伝わったかといった疑問を一つ一つ解いていきます。食と気候・風土・宗教のかかわりへと発展させていくこの過程では、留意点として、食文化の違いの具体例を示しながら、自分たちの食文化を相対的に考えてみるのが大切です。**あーぢぶぢ**の見学や外国人スタッフへの協力による解決方法や課題解決の糸口となる補助資料もキットには用意されています。

調べた内容を、学級で報告しあい、“カレー博物館”を開きます。企画・運営は子ども自身が進めていきます。

体験的な時間では実際に自分たちでインドカレーを作り、「手食」をしたり、発表、感想を話し合い、学んだことを記録します。イギリスを経由して日本に伝わりカレーラーに変身したカレーが輸出されているように、世界に流通しながら共通化する食文化をどう受け入れていけばよいか考える時間を設ける提案もされています。



### 国際カレー会議を開こう

\*中学生用で10～15時間で提案されている。人数は40名程度を想定]

生徒がカレー文化圏の国(地域)の代表となり、「国際カレー会議」を開催することを主題とするグループ学習です。5つのステップで構成されています。

#### 「カレーを知ろう」

クイズなどを取り入れてカレーの多様性に気づき、カレー文化の国(地域)に対する関心を高めます。

#### 「担当する国のカレーを調べよう」

グループに分かれ、担当する国の食文化を調べ、資料の作成や発表の準備をします。

#### 「国際カレー会議を開こう」

グループごとに調べたことを発表します。多様な食材とそれぞれの社会環境にあった食べ方があるということから、食文化の多様性に気づき理解します。

#### 「なぜ世界中でカレーが食べられているのか」

歴史的・経済的に相互依存している「世界の食料と食文化」を理解するため、**あーぢぶぢ**での校外学習を取り入れます。

#### 「未来のカレーを開発しよう」

これからの世界や食文化のあり方を生徒一人一人が考えます。

このほか、「カレーの世界を探検しよう」、「世界の米料理」など多くの授業案があります。



貸出料は3,000円(送料別) 問合せ:地球市民学習課(TEL.045-896-2898)

利用者の声 テーマに合致した場合はとても有効な教材である。食だけでなく衣(サリー)などもあり役にたった。インターネット等で様々な情報を得ることは出来るが、実物資料はなかなか手に入らないので参考になった。男性の衣装・展示用の写真・現地の民話や昔話・表やグラフがもう少しあればよい。2004年4月から貸出しを始めた「カレーキット」は、利用者の声を参考に改良を加える予定です。

## ボックスをあけて世界をひらこう！

カレーキットのほかにも、様々なボックス教材があります。学校や地域で、外国人住民が講師として話をするとき、国や地域を紹介する「モノ」があると、話はずみです。実際に触ったり、匂いをかいだり、身にまってみることで、実感できることもあります。「モノ」を前にして、どんな学びがとれるか、相談してみませんか。

### ブラジルボックス

～教室の仲間をもっと知る道具箱～

外国人の約半数がブラジル人の滋賀県では、滋賀県国際協会が教材「ブラジルボックス」を貸出している。ブラジル出身の協力者たちと一緒に作成し、協力者が学校などで使ってきたおすすめの素材を箱の中に入れてある。お試し期間中は、協力者の講師派遣もあり、1日おきに申込みがあるほどの人気だったそうだ。「協会の窓口には、『ブラジル出身の子どもたちが学校になじめない』『保護者が周囲と交わる機会が少ない』という相談が多い。遠い国の文化紹介の前に、身近な多文化を知ってほしいし、ボックスを使って外国人保護者が学校教育に関わりやすくなれば」と担当の大森さん。子どもと一緒にオリジナルのボックスをつくらうという学校も出てきたそうだ。中身は、ブラジルの地図、国旗、写真



教材、シマホン&マテ茶、ピラルクのうろこ、教科書、ピラスをつけた赤ちゃん人形、利用マニュアルなど。(貸出は滋賀県内が対象)

問合せ  
(財) 滋賀県国際協会  
TEL: 077-526-0931

<http://www.s-i-a.or.jp/>

### カンボジアの箱

～人々の生活を実感するために～

地雷の問題は深刻だが、「カンボジア＝地雷」だけではない。カンボジアに暮らす人々とともに持続可能な農業のプロジェクトを進めているJVC(日本国際ボランティアセンター)が、もっと人々の生活を実感してほしいと作成したボックス教材。中に入っているクイズでカンボジアの概要が分かる。様々な生活用具の模型や子ども用の教科書・ノートなど、日本と似ているところと異なるところを手にとりながら、実感できる。カンボジアの農村の家の模型(写真)を作りながら、「どうしてこんな形をしているのか」を想像してみよう。担当の鈴木さんのおすすめは、農村の女の子「パウちゃんの1年」のスライドと説明書。カンボジアの専門家でなくても授業ができる素材だ。箱の内容物と対象者別のワークショップ例をホームページに掲載している。

貸出5,000円(送料別)



問合せ  
(特活) 日本国際ボランティアセンター(JVC)  
TEL: 03-3834-2388  
<http://www.ngo-jvc.net/>  
\* パレスチナ、ベトナム、ラオスの箱もあり。アフガンの箱も作成中。

## 借りてみよう！ボックスいろいろ

### フィリピンボックス

地域に暮らすフィリピン人と共に、フィリピンを紹介する授業の小道具として活用できる。授業案や過去の利用者の実践報告も公開。竹の楽器ボックスもあり。全国どこへでも貸出可。貸出3,000円(送料別)

ピナツボ復興むさしのネット(ピナツ)

TEL: 0422-34-5498 <http://hachinoko.id.infoseek.co.jp/pinatb/>  
横浜の姉妹都市ボックス

8つの姉妹・友好都市の生活を紹介するボックス。民族衣装、音楽、伝統工芸品や食物、玩具や教科書など。対象は市内の学校・機関(市外は要相談)。貸出無料(送料別)

(財) 横浜市国際交流協会・活動支援課

TEL: 045-222-1174 <http://www.yoke.city.yokohama.jp/>

### みんぱく

国立民族学博物館が収集した衣装、楽器、生活道具、学用品などに加えそれらにまつわる情報や解説をスーツケースにバックした学習キット。「アンデスの玉手箱」「イスラム教とアラブ世界の暮らし」「ソウルスタイル-子どもの1日」など7種類。貸出無料(送料別)

国立民族学博物館「みんぱく」係

TEL: 06-6876-2151

<http://www.minpaku.ac.jp/museum/kids/minpack>

### ワールドボックス

国別(29ヶ国)/教科書/楽器のボックスがある。貸出3,000円(送料別)

(社) 青年海外協力協会

TEL: 03-3406-9151 <http://www.joca.or.jp/>

## 神奈川県国際交流協会「会員のつどい」(メーリーランド州英会話講師シガールさんとお花見ハイキング)

米国メーリーランド州から英会話講師として来日しているシガールさんは、英会話の授業だけでなく、神奈川県と友好提携を結んでいるメーリーランド州との交流も図っています。また、会員の皆様との交流を図るため「会員のつどい」を開催します。ぜひご参加ください。

日時: 3月27日(日) 11:00~16:00

場所: 鎌倉周辺のハイキングコース

対象: 会員またはその家族(会員証をお持ちください)

定員: 20名(事前申込制、先着順)

集合: 北鎌倉駅 11:00

参加費: 1,000円

(ハイキング資料、レクレーション、保険代込み)

問合せ・申込み: 国際協力課(担当: 上原)

TEL: 045-896-2964 月曜休み

## 2005年度春期英会話講座受講者募集中!

(財)神奈川県国際交流協会では、地球市民学習としての英会話講座を下記の要領で開催します。本講座では、受講生の方を「基礎」「初級」「中級」「上級」「特A」の5つのレベルにクラス分けし、それぞれのレベルに即したコミュニケーション能力を高める講座を行います。

講師が用意する様々な文化に関するテーマ、教材をもとに発話の機会を出来る限り多く設け、ネイティブ講師との対話、グループディスカッションなどを通して、会話力の向上を目指します。土曜日の夜には補講用のフリーークラスも設置しましたので、この機会に是非ご参加ください。

日時：4月5日(火)～8月12日(金)

場所：あーすフェスタ 1階研修室AまたはB 対象：一般

定員：基礎～上級：12名程度、特A：4名程度

(最少催行人数8名、特Aのみ2名)

先着順、新規受講者はレベルチェックの必要有り

講師：シガール・モシユ(シガール)、ウィリアム・ロナガン(ビル)、エリザベス・ナイト(ベス)、ジョエル・ラッシュ(ジョエル)、ジョージ・ブラウン(ジョージ)、下村 久美

### クラス編成

	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜		
10:30 ～12:00	基礎 下村	中級 シガール	初級 ビル	上級 シガール	初級 シガール	特A シガール	
13:30 ～15:00		初級 シガール	中級 ビル	上級 シガール	上級 ビル	初級 シガール	
15:30 ～17:00		初級 シガール				中級 シガール	
18:30 ～20:00	中級 ベス	中級 ジョエル	初級 ベス	上級 ジョージ	初級 ビル	中級 ベス	Free / ジョージ

参加費：基礎～上級：39,900円、特A：79,800円

(いずれも別途年会費3,000円)

問合せ・申込み：国際協力課(担当：水野)

TEL：045-896-2964 / FAX：045-896-2945 /

E-mail：minsai@k-i-a.or.jp 月曜休み

## あーすフェスタかながわ2005

みんなで育てる多文化共生 開催のご案内

5月14日(土)・15日(日)

入場無料 一部のプログラムは要参加費



神奈川に暮らすさまざまな国籍、文化、歴史的背景を持つ多くの人々が集い、出会い、語り合う催しです。今回で6回目を迎えるフェスタの合言葉は「はなしてみなけりゃ、はじまらない!」ステージ、屋台、展示、バザールなど、さまざまな場で出会いと対話が生まれることを願い、企画内容にも工夫を凝らしています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日程：5月14日(土)・15日(日)

会場：あーすフェスタ 及びリリス(横浜市栄区民文化センター)

内容：民族芸能ステージ、日本語スピーチフォーラム、NGOなど団体紹介、世界屋台村、「しゃべり場」(多文化共生に関する意見交換の場)など(予定)

主催：あーすフェスタかながわ2005実行委員会

問合せ：あーすフェスタかながわ2005実行委員会事務局

(神奈川県国際交流協会内) 月曜休み

TEL：045-896-2964 <http://www.k-i-a.or.jp/earthfesta>

## 第13回カナガワビエンナーレ 国際児童画展

入場無料



大賞「自画像」ジュレ・ボグラールカ  
(8歳・ハンガリー)

神奈川と世界のこどもたちが絵画を通してお互いに生活や文化を理解し合う目的で「カナガワビエンナーレ国際児童画展」が開催されます。展覧会では全入賞作品を展示するほか6月から県内市町等で巡回展が開催されます。

日時：4月23日(土)～5月15日(日)9時～17時

場所：あーすフェスタ 3階 企画展示室

問合せ：地球市民学習課

TEL：045-896-2899 月曜休み

## 春休みこども地球市民クラブ2005 「自然の中で育むハーモニー - バリ島」

音楽、リズムなど言葉によらないコミュニケーション体験等により、国際理解の基本となる「違いを尊重することから生まれる豊かさ」「協力することの意味」を体感してみましょう。

日時：3月26日(土)ケチャ体験とグンデル・ワヤン(民族楽器)鑑賞 3月27日(日)手作り楽器で合奏とバリ舞踊見学 いずれも13:30～16:30 \*2日間連続講座

場所：あーすフェスタ 3階 企画展示室

対象：小学校3年生～高校生(保護者との参加可)

定員：30名(事前申込/先着順)

参加費：楽器材料費 ひとり500円程度

問合せ・申込み：地球市民学習課(担当：矢澤)

TEL：045-896-2898 月曜休み

## エスニックレストラン新規提携店紹介モンゴル料理「大草原」

店長のトクトホさんは、モンゴル出身。モンゴル相撲を通してオーナーと知り合いました。「モンゴル料理を通してモンゴル文化を日本に広めたい」という熱意から昨年4月にお店をオープンしました。店内にはゲル(移動式住居)があり、民族衣装を着て記念写真を撮る事もできます。お薦めは、チャンサンマハ(骨付き羊肉の岩塩ゆで)、モンゴルポーズ(小籠包)、モンゴルしゃぶしゃぶなどです。週末には、馬頭琴のコンサートをやっています。

会員特典：飲食代金の10%を割引、  
1人2,000円以上  
相鉄線「西横浜駅」より徒歩10分

横浜市西区中央2-17-2ふじだな1番街  
TEL：045-312-6477  
<http://www.daiso-gen.com>  
営業時間：11:00～14:00、  
17:00～23:00  
定休日：火曜日



## かながわ民際協力基金春の助成申請募集

協会では、4月1日から5月31日までの間、「かながわ民際協力基金」への助成申請を受け付けます。また、申請についてのご相談も受け付けています。なお、「NGO等協働事業」のご提案は、随時受け付けています。

### 【1】春の助成申請募集

対象分野：次の～のいずれかに該当する活動 海外協力事業、国内協力事業、担い手育成事業、団体活動充実事業  
申請資格：県内に活動拠点があるか、主に県内で活動するNGO  
助成上限：～300万円 50万円  
(いずれも、助成対象経費から他の公的助成金の額を引いた金額の1/2が上限)

対象：今年10月1日以降、1年の間に開始される事業(緊急支援事業の申請は随時受付)

\*「申請の手引き」も配布しています。詳細はお問い合わせ、又は当協会ホームページをご覧ください。

### 【2】申請ガイダンスの開催

助成金獲得のコツ、お話しします！  
(申込み不要)

日時：4月10日(日)13:00～15:00  
場所：あーぢ 355 1階 研修室A  
問合せ：国際協力課  
TEL：045-896-2964  
FAX：045-896-2945  
E-mail：minsai@k-i-a.or.jp 月曜休み

## スマトラ沖地震・津波被災者支援イベントを開催しました！

協会では、スマトラ沖地震・津波被災者支援イベントとして、1月22日から30日までの間、「インド洋の子どもたちの絵画展」を開催。第12回カナガワビエンナーレ国際児童画展の入選作品のうち、被災地域の子どもたちの作品約90点を展示しました。ま

た、1月29日には、スリランカで被災状況の調査を行った横浜YMCAの大江 浩さんによる報告会を開催しました。会場の募金箱に寄せられた寄付金41,501円は、(財)日本ユニセフ協会を通じ、被災地域の子どもたちの支援活動に役立てられます。

## 会員大募集中！

### 入会受付随時

#### 入会方法

神奈川県国際交流協会の事務所で申込み郵便振込で申込み  
口座番号 00290-9-14928  
加入者名 (財)神奈川県国際交流協会  
通信欄に生年月日、職業(学校名、学年)をご記入ください。  
振込人住所氏名欄は必ずご記入ください。  
お名前にはフリガナをお願いします。  
年会費 一般 3,000円から  
学生 1,500円から  
団体 10,000円から

#### 会員になると...

協会主催の各種催しやNGOの催し情報、ボランティア情報を定期的にお届けします。会員対象の催しへご招待します。これまでに映画会やメリーランド州から招聘した英会話講師との交流会を開催しました。各種割引サービスが受けられます。  
・提携エスニックレストランで割引  
・あーぢ 355 レストラン「メルヘン」で割引  
・フェアトレードショップ「ベルダ」で割引  
・協会出版物の無料提供・割引  
より詳しい資料をご希望の方は、国際協力課  
TEL:045-896-2964  
E-mail:minsai@k-i-a.or.jp  
までお問合せください。

神奈川県国際交流協会(KIA)は地球のすべての人が、国境や人種、文化の違いを越えて、人間らしく暮らせる社会の実現のため、人と人のつながりを大切にしたい「国際交流」「国際協力」を推進する様々な事業を展開しています。



このほか、神奈川県国際研修センターと神奈川県国際学生会館を運営しています。

Hello friends

2005年3月1日発行  
第243号

発行/財団法人 神奈川県国際交流協会  
〒247-0007  
横浜市栄区小菅ヶ谷4丁目2番1号  
神奈川県立地球市民かながわプラザ1階  
045-896-2626 FAX.045-896-2945  
URL: <http://www.k-i-a.or.jp>  
E-mail: kikaku@k-i-a.or.jp  
印刷/株式会社エイコープリント

「伝統 Tradition」とは、そのように「無名」の人々が口伝えや自分なりの身振りの「技術」を通して何かを伝え続けることであるという。「技術」に対して純粋になりがちなのは、キムチの「伝統」を伝えたのは、実は日本人の母親であった。少しくづつたけれど、そのことが、どこまで心地道よいのなせだろ。」  
(企画情報課 金迅野)

「キャラバン・サライ」イギリスを経由して日本に渡り「ルー」に変身した「カレー」が、さらに日本から海外に輸出される。様々な折り重なるいびつな関係の中から新しい「もの」が生みだされてゆくというこの意味を、「もの」自体がそと私たちに問うてくることがある。高校生になると、母親にキムチの漬け方を教わったことがある。故あって盛んに「一人暮らしは、したい」と主張していた私は、そのとき、「ひとりて生きる」ときに問われる「備え」について、最も欠けていることの一つを、やりわりと突かれたような気がした。大根やにんじんを千切りにする技術(テクニック)、塩加減、隠し味の多様さと適量な分量、それを加えるタイミング、手で食材をもむということに含まれる意味、発酵のさせ方、保存の仕方、盛りつけの思想...「当たり前」に食卓に載せられる食べ物の背後に、実は目がくらむほどの、「案配」としが語られない「技術」が、静かに思っていることに気づかされたのを覚えていた。

キャラバン・サライとは、かつてシルクロードにあった隊商宿。文化・情報の中継点となっていました。協会職員からのメッセージ発信の場となるよう名付けました。